

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	家庭
-----	----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>第1の観点</p> <p>①全ての題材で、学習の流れがステップ1からステップ3で示されている。それぞれにステップの学習の後、振り返りの問いかけがある。</p> <p>②ミシンの使い方について、「いつもたしかめよう」のページに、順序が示されている。言葉での説明と動画での説明が用意されている。技能の定着を確認するための練習カードがある。上糸のかけ方では、手順ごとにミシンを拡大したイラストと文で示されている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①4つの視点を家庭科の窓から見える形として記載し、題材ごとにどの視点や考え方で学習を進めていくのかが題材の冒頭で示されている。</p> <p>②学年で学んだことを生かして実践していくことをねらいとしたページが設けられ、4つの視点を働かせることや実践進め方が示されている。また、「夏休みわくわくチャレンジ」として、学習したことを長期休業中に家庭で実践することを促す場面が設けられている。</p> <p>③学習の最後に「深めよう」があり、学習したことを生活に生かすための実践例が記載されている。第5学年で8回、第6年年で7回の「深めよう」が設定されている。また、各学年の最後にも「深めよう」があり、1年間または2年間の家庭科の学習を振り返り、生活の中での実践を促す構成となっている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができる構成になっている。活動例や実習例が豊富で、地域や学校の実態に応じて選択して指導できるように設定されている。</p> <p>②各教科や中学校との学習内容との関連について、統一したマークで示され、教科名、学年、単元概要が記載されている（34個）。</p> <p>第4の観点</p> <p>①野菜の切り方について、写真、図、動画で示されている。実物大の写真がそれぞれの題材のページに示されている。右利き左利きの動画が、別々になっている。</p> <p>②ユニバーサルデザインフォントが採用されている。全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインされている。</p>

	<p>第5の観点</p> <p>①主に「活動 話し合おう」「活動 考えよう」「活動 調べよう」「活動 深めよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が設定されている。</p>
開隆堂	<p>第1の観点</p> <p>①全ての題材で、学習の流れ（めあて）が明記され、学習の進め方の文言と合わせて示されている。それぞれの学習段階に合わせて、めあてにチェック箇所がある。</p> <p>②ミシンの使い方については、上糸のかけ方の順序が番号で示してあり、チェック表もある。上糸のかけ方の全体的な流れが示してある。</p> <p>第2の観点</p> <p>①4つの視点のうち、どの視点から学習を進めていけばよいかは題材ごとにクローバーの葉で冒頭に示されている。</p> <p>②大きな題材をいくつか学んだ後、生活に生かし実践していくことをねらいとするページが設けられ、4つの視点でどのように考えて実践していけばよいか、吹き出しとともに示されたり、課題解決のステップが例示されたりしている。</p> <p>③学習の最後に「生かす・深める」があり、学習したことを生活に生かすための実践例がある。第5学年で10回、第6学年で9回「生かす・深める」で実践例を確認することができる。</p> <p>第3の観点</p> <p>①第5学年は、スモールステップで反復学習ができるように基礎・基本の定着を図る題材が設定されており、第6学年は第5学年の学習した技能を生かした題材が設定されている。</p> <p>②各教科との関連に加え、安全教育、環境教育、消費者教育、キャリア教育など、様々な教育活動との関連が記載されている（27個）。</p> <p>第4の観点</p> <p>①野菜の切り方について、切り方の説明はそれぞれの題材のページに絵と動画で示されている。巻末で実物大の写真が掲載されている。右利き左利きの動画が、一つにまとめられている。実習の手順が横流れで示されている。</p> <p>②ユニバーサルデザインフォントが採用されている。カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、多くの児童が見やすくなるように配慮されている。</p> <p>第5の観点</p>

	①主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする活動が取り上げられている。
--	--